

## 2008 年度第 1 回理事会議事録

会場：日本画像医療システム工業会会議室

期日：2008 年 6 月 17 (火) 15:00～17:00

### 報告事項

#### 1. 第 3 回 MR 専門技術者認定試験報告

認定者：50 名 所属団体 JMRM：41 名，JRS：1 名

JSRT：45 名，JART：38 名，JAMT：0 名

所有資格 医師：1 名，診療放射線技師：49 名，臨床検査技師：0 名

#### 2. 会計報告

2007 年 6 月から 2008 年 5 月までの収支決算を報告

[資料参照]

### 議事

#### 1. 2008 年度の事業スケジュール

平成 20 年 10 月 試験案内の広報 (HP ならびに各団体の会誌)

平成 20 年 11 月 認定試験作成委員会

平成 20 年 12 月 申請受付と書類審査

平成 21 年 1 月上旬 受験資格者の認定

平成 21 年 1 月下旬 認定試験の受講票の発送

平成 21 年 3 月上旬 第 4 回磁気共鳴専門技術者認定試験 (神戸大学)

平成 21 年 3 月下旬 第 4 回認定試験合格者の公表

平成 21 年 4 月上旬 第 4 回磁気共鳴専門技術者の認定申請受付

平成 21 年 5 月上旬 第 4 回磁気共鳴専門技術者の認定書の発行

#### 2. 2008 年度認定試験作成委員の任命 (近畿地区の認定試験合格者で構成)

認定試験作成委員長 小倉 明夫 (京都市立病院)

認定試験作成委員 堀之内 隆 (大阪府立成人病センター)

植田 隆史 (天理よろづ相談所病院)

東田 満治 (大阪市立大学医学部附属病院)

吉村 雅寛 (滋賀医科大学医学部附属病院)

平田 誠 (大津赤十字病院)

石本 剛 (姫路循環器病センター)

#### 3. 第 4 回認定試験について

(1) 日程 ECR (3 月 6 日～10 日) の日程を除いた 2 月下旬 or 3 月上旬。

(2) 試験問題 従来の 5 問全問正解で得点が得られる方式は、関連した 5 問が出題され、回答数が指定されている場合とする。それ以外は 1 問ずつ独立した問題と得点とする。

(3) 認定レベルについて 認定者数は多い方がいいが (B ランクの設置)、エキスパートを要請する主旨があるので、第 1 回更新者を輩出するまで様子を見る。

#### 4. 第1回更新に向けて

- ・第4回認定試験（神戸）から更新のための安全管理講習を受け付ける。
- ・認定試験時の安全管理講習会以外の同等の講習会をリストアップする。
- ・安全管理講習会受講料：3000円

#### 5. 広報活動

- (1) 社会的に 機構の社会的認知度を上げるための広報活動を模索する。  
院長向けに書面を送り認定者の存在をアピールする。  
認定者にネームカードの発行を検討する。
- (2) HP 一般者向けの内容を作成する。（チェック項目、造影剤の情報など）  
安全に関する情報などのオペレータ向けの広報を充実する。  
第3回認定試験問題の抜粋（10問）を掲載する。

#### 6. 今後の機構の活動

- 2年後のNPO法人 or 有限責任法人の取得を検討する。
- 下部組織の充実 → 地域ごとに設立して役割分担をする。

#### 7. 書類審査レベルについて（日本放射線技師会の特別枠に関連して）

技師会の資格で受験したい会員が多いと聞くので、本年度は据え置く。

#### 8. MR 専門技術者活動について

- (1) 近畿地区の活動成果  
骨盤領域のお勧め撮像条件（撮像のポイント）をまとめたので、HPに掲載する。
- (2) 今後の地区活動方策について  
同様の活動を地域活動として全国に広める。

以上

### 2008年度執行体制

理事長	荒木 力（山梨大学大学院）	日本磁気共鳴医学会
理事	大友 邦（東京大学医学部）	日本医学放射線学会
	小倉明夫（京都市立病院）	日本放射線技術学会
	才籾純一（東京歯科大学市川総合病院）	日本臨床衛生検査技師会
	土橋俊男（日本医科大学付属病院）	日本磁気共鳴医学会
	鶴岡尚志（国家公務員共済組合連合会三宿病院）	日本臨床衛生検査技師会
	土井 司（大阪大学医学部附属病院）	日本放射線技術学会
	中島康雄（聖マリアンナ医科大学）	放射線専門医会・医会
	丸山克也（シーメンス旭メディテック株式会社）	日本画像医療システム工業会
	山下康行（熊本大学医学部）	日本医学放射線学会

日本放射線技師会から後任の推薦がされなかったため依頼できず。